



まつぼっくり

第 1 1 号
令和4年6月21日
大洗町立祝町幼稚園



梅シロップづくり へたとりの次は

「梅シロップの続きやろうよ」と、さくら組。さあ、へたを取って冷凍した梅をいよいよビンに入れます。ビンに入れるのは梅の実と『氷砂糖』「甘くするのに入れるんだよ」と、さくら組。「みんなの知っている砂糖ってこういうの?」「違う!白くてサラサラしている。」「固まってはいいない!」「でも、砂糖って書いてあるからこれも甘いと思う」いろいろな意見がでます。みんなで作る梅シロップ。もしも、この塊った物がしょっぱかったら残念!本当に砂糖なのかどうか確かめてから入れようということになりました。「確かめるにはどうしたらいいかな」の問いかけに「なめてみればわかると思う」「なめてみる?じゃあ、先生が代表で!」と言うと「えーっ!」の声。そして、みんなで小さいのを一つずつなめて確かめることになりました。「あまーい!」「やっぱり砂糖だ!」「ずっとなめていたい!」砂糖だったことと甘くて美味しかったことに幸福そうな笑顔であふれていました。無事、ビンの中に梅の実と砂糖が交互に入り梅シロップとなる日を待ちます。



楽しかったね!第2回磯遊び

今回の磯遊びは、着替えや履き替え用の靴と水筒の入ったリュックを背負って、うめ組、さくら組で福祉バスに乗ってでかけました。前回と同じ大洗海岸に到着すると、学校教育課指導室のK先生が待っていてくれました。「今日はたくさんの海の生き物を見つけてください。」とのK先生のお話を聞いて早速岩場の潮だまりをのぞき込みます。「今日もアメフラシいるかな?」「今日は絶対カニを捕まえる!」と、2回目ということもありみんな張り切っています。「その持っているのなあに?」と前回お休みしたため今回が初めてのお友達。そばにいたお友達が「アメフラシだよ」と教えてくれました。「ちょっと触ってみる?」と誘いかけると、人差し指でチョンと触れることができました。と、思うと次にはもう「抱っこしてみる」と両手で持って入れ物に。そして「触れた、楽しい!楽しい!」と、喜び、体験を広げることができました。今回もたくさんのカニやアメフラシ。大小のイトマキヒトデ、ヤドカリそしてウニも見つけて大収穫。最後は、K先生にウニやヒトデの口の部分を「よく見てごらん」と、さらに興味や関心が深まるようなお話を聞くことができました。親子磯遊びの後、「大潮の日を選んで家族で磯遊びを楽しみました。」という方もいらっしゃいます。体験を通して、地域の恵まれた自然に親しみ、更に、この環境を大切にしていきたいという気持ちも育ってほしいと願います。

